

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-52926 (P2000-52926A)  
【公開日】平成 12 年 2 月 22 日 (2000.2.22)  
【出願番号】特願 平 10-231605  
【国際特許分類第 7 版】  
B 6 0 R 22/48  
【F I】  
B 6 0 R 22/48 B

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 7 月 22 日 (2005.7.22)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、

ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、

前記ドア開閉検出手段によりドアが開いていることが検出されたときは、前記ドアが閉じているときに比べ、前記シートベルトの格納が速く行われるように前記モータの駆動を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする車両用乗員拘束保護装置。

【請求項 2】

少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、

ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、

シートベルトが装着されていることを検出するシートベルト装着検出手段と、

自車両が後進していることを検出する車両後進検出手段と、

前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検出手段により前記ドアが開いていることが検出され、前記車両後進検出手段により自車両が後進していることが検出されたときは、前記シートベルトを巻き取らないように前記モータの駆動を制御する、及び前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検出手段によりドアが開いていることが検出され、前記車両後進検出手段により自車両が後進していることが検出されないときは、前記シートベルトを巻き取るように前記モータの駆動を制御する、の少なくともいずれか一方を実行する制御手段と

を備えることを特徴とする車両用乗員拘束保護装置。

【請求項 3】

少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、

ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、

シートベルトが装着されていることを検出するシートベルト装着検出手段と、

自車両の速度を検出する車両速度検出手段と、

前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検

出手段によりドアが閉じていることが検出され、前記車両速度検出手段により検出された自車両の速度が所定速度よりも遅いときは、前記シートベルトを巻き取らないように前記モータの駆動を制御する制御手段と  
を備えることを特徴とする車両用乗員拘束保護装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項１の車両用乗員拘束保護装置は、少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、前記ドア開閉検出手段によりドアが開いていることが検出されたときは、前記ドアが閉じているときに比べ、前記シートベルトの格納が速く行われるように前記モータの駆動を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

請求項２の車両用乗員拘束保護装置は、少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、シートベルトが装着されていることを検出するシートベルト装着検出手段と、自車両が後進していることを検出する車両後進検出手段と、前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検出手段により前記ドアが開いていることが検出され、前記車両後進検出手段により自車両が後進していることが検出されたときは、前記シートベルトを巻き取らないように前記モータの駆動を制御する、及び前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検出手段によりドアが開いていることが検出され、前記車両後進検出手段により自車両が後進していることが検出されないときは、前記シートベルトを巻き取るように前記モータの駆動を制御する、の少なくともいずれか一方を実行する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

請求項３の車両用乗員拘束保護装置は、少なくともモータの駆動によりシートベルトの格納を行う車両用乗員拘束保護装置において、ドアの開閉を検出するドア開閉検出手段と、シートベルトが装着されていることを検出するシートベルト装着検出手段と、自車両の速度を検出する車両速度検出手段と、前記シートベルト装着検出手段によりシートベルトの装着が検出され、前記ドア開閉検出手段によりドアが閉じていることが検出され、前記

車両速度検出手段により検出された自車両の速度が所定速度よりも遅いときは、前記シートベルトを巻き取らないように前記モータの駆動を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。